

# 平成 28 年度 第 2 回市川市健康都市推進協議会

日時：平成 29 年 2 月 23 日(木)

午後 2 時～3 時 30 分

会場：市川市役所 第 2 委員会室

## 次 第

### 開 会

- 1 挨拶
- 2 新任委員の紹介
- 3 議 事
  - (1) 健康いちかわ 21 (第 2 次) 推進にむけて
  - (2) 第 7 回健康都市連合国際大会報告
  - (3) 情報交換

### 閉 会

#### 【配布資料】

- 資料 1) 第 7 回健康都市連合国際大会情報提供
- 資料 2) COPD についてチラシ 2 種類
- 資料 3) 「受動喫煙のない社会を目指して」ロゴマークについて
- 資料 4) 「第 11 回 下総・江戸川ツーデーマーチ」チラシ

#### 【事前配布資料】

- 健康いちかわ 21 (第 2 次) 各課事業シート
- 市民の健康状態と生活習慣の改善に向けた各分野の課題

市川市健康増進計画

健康いちかわ21（第2次）

推進にむけて

平成29年2月23日（木）

保健部 保健医療課

健康都市・健康づくり推進担当グループ

# 本日の会議内容

1. 健康いちかわ21(第2次)について
2. 目標達成にむけた具体的な取り組みについて
3. 意見交換

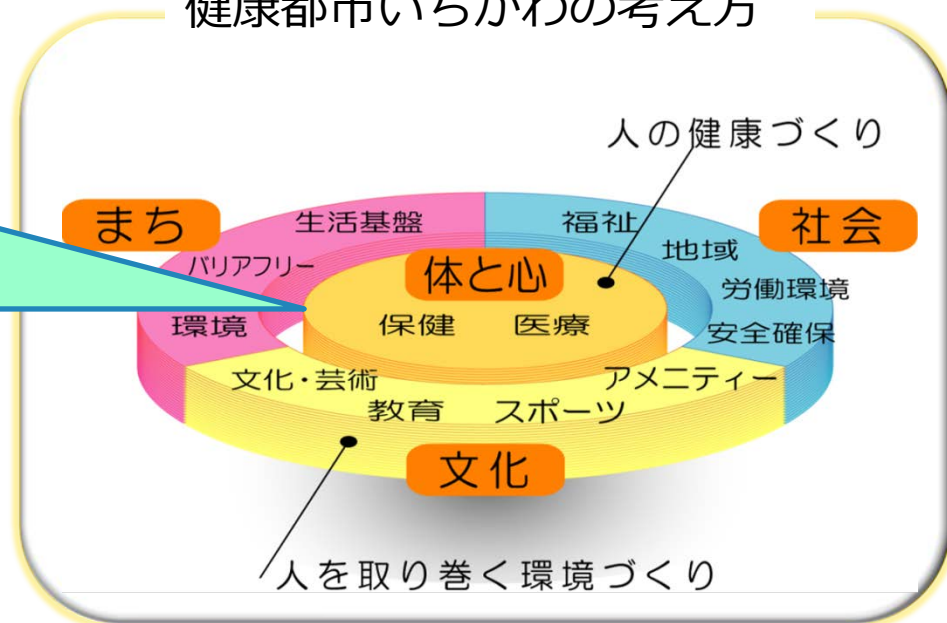
# 1. 健康いちかわ21(第2次)について

# 健康いちかわ21（第2次）とは

- 健康増進法第8条第2項の規定による「**市町村健康増進計画**」
- 「健康日本21（第2次）」「健康ちば21（第2次）」の考え方に  
基づいた市民の健康づくりを推進するための計画
- 健康都市の中心分野である「**人の健康づくり**」のための計画と  
して、位置づけられている。

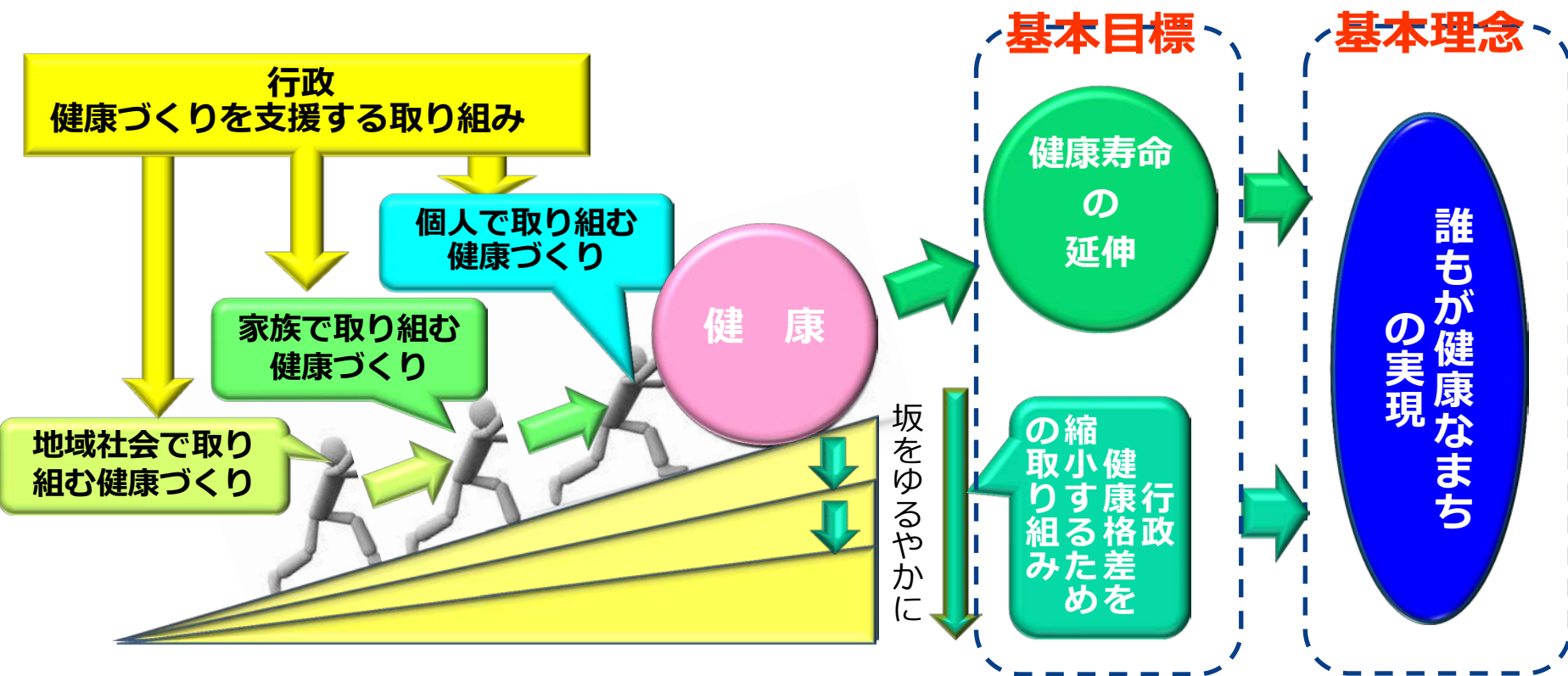
健康都市の中心分野である  
**「人の健康づくり」**に取りくむ  
ための市民の行動計画  
＝**市川市健康増進計画**  
**（健康いちかわ21）**

## 健康都市いちかわの考え方



# 計画の基本的な考え方（基本理念と基本目標）

～「誰もが健康なまち」実現のためのイメージ図～



健康づくりに取り組むためには、まず「**個人**」が健康づくりに取り組む必要がある。その「個人の健康づくり」を支えるのが「**家族**」や「**地域社会**」であり、「**行政**」はその健康づくりを支援する役割を担う。

# 計画の位置づけ

## 市川市総合計画（I & Iプラン21）

施策の方向：**健康**で安心して暮らせる、地域福祉の充実したまちづくり

### 市川市健康増進計画

基本理念：誰もが**健康**なまちづくり  
基本目標：**健康寿命の延伸**  
**健康格差の縮小**

### 市川市特定健康診査等実施計画 市川市国民健康保険データヘルス計画

基本目標：**健康寿命の延伸**  
**健康格差の縮小**

連携・  
整合

### 市川市食育推進計画

基本目標：生涯を通じて健康な食生活を実践することで**健康寿命の延伸**を図る

### 市川市自殺対策計画

基本目標：自殺に対する理解を深め、生涯を通じて命を大切にす取り組みで自殺を減らす

### 市川市スポーツ振興基本計画

基本理念：**健康**でふれあい生まれるスポーツのまち  
いちかわ

### 市川市地域福祉計画

基本理念：誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送ると共に、自ら参画し、安心して暮らすことのできるまちをつくる  
基本目標：4.自立と**生きがいづくり**

### 市川市子ども・子育て支援事業計画

基本目標：4.子供と子育て家庭の**健康**づくり

### 市川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

基本目標：1.**生きがいづくり**と**介護予防**の推進

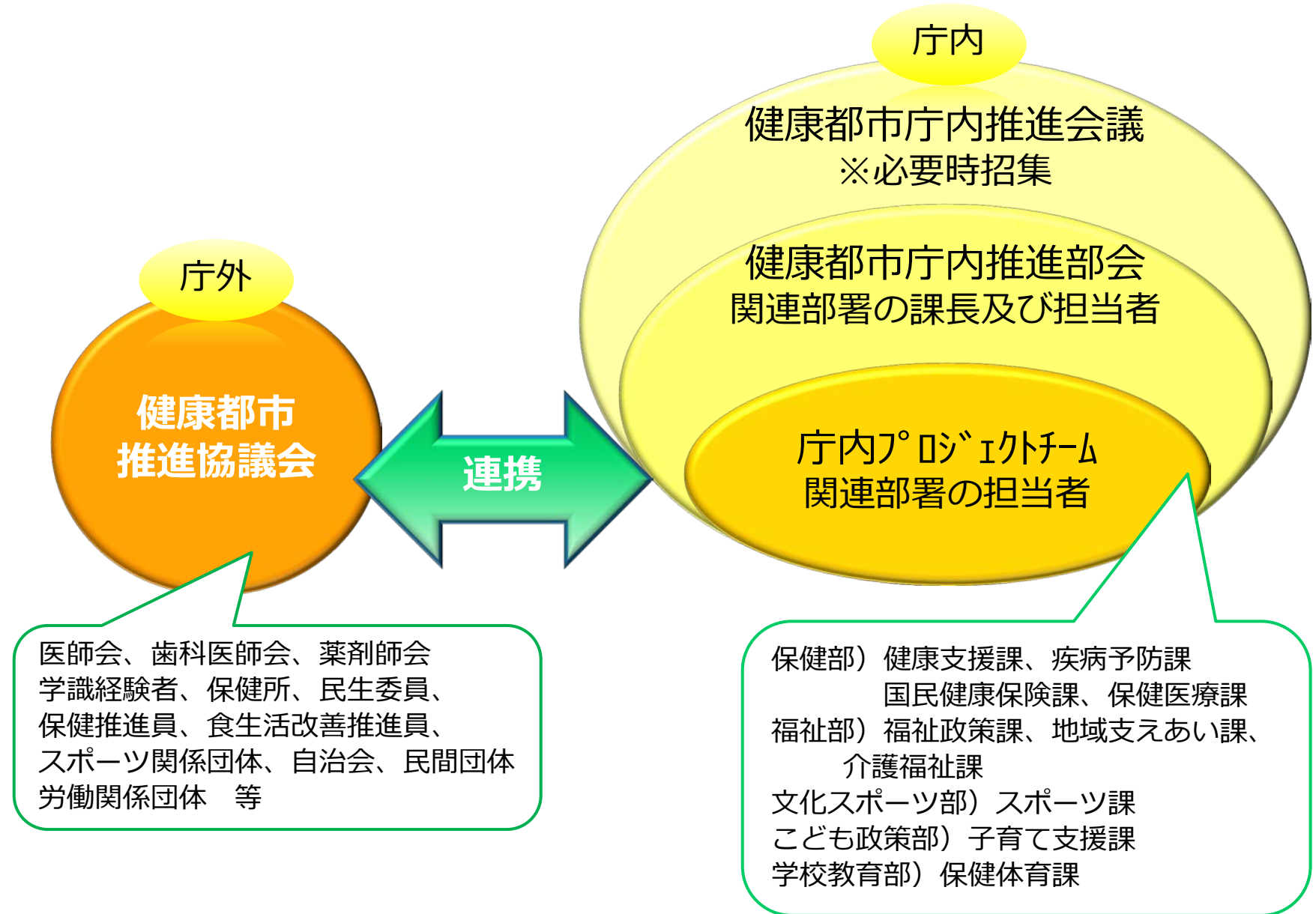
# 計画の期間

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
国	【第2次】計画期間				H25～H34年度					
県	【第2次】計画期間				H25～H34年度					
市川市	【第2次】計画期間 H28～H37年度									
	周知	前期取り組み			中間評価					第3次計画策定準備
	eモ二	eモ二	eモ二	eモ二	アンケート実施	eモ二	eモ二	eモ二	eモ二	

- 計画実施期間 10年間のうち、H29年～H31年の**3年間で前期の取り組み**を行う。
- 中間年度である**H32年**にアンケート調査等を行い、前期取り組みの評価を行う。

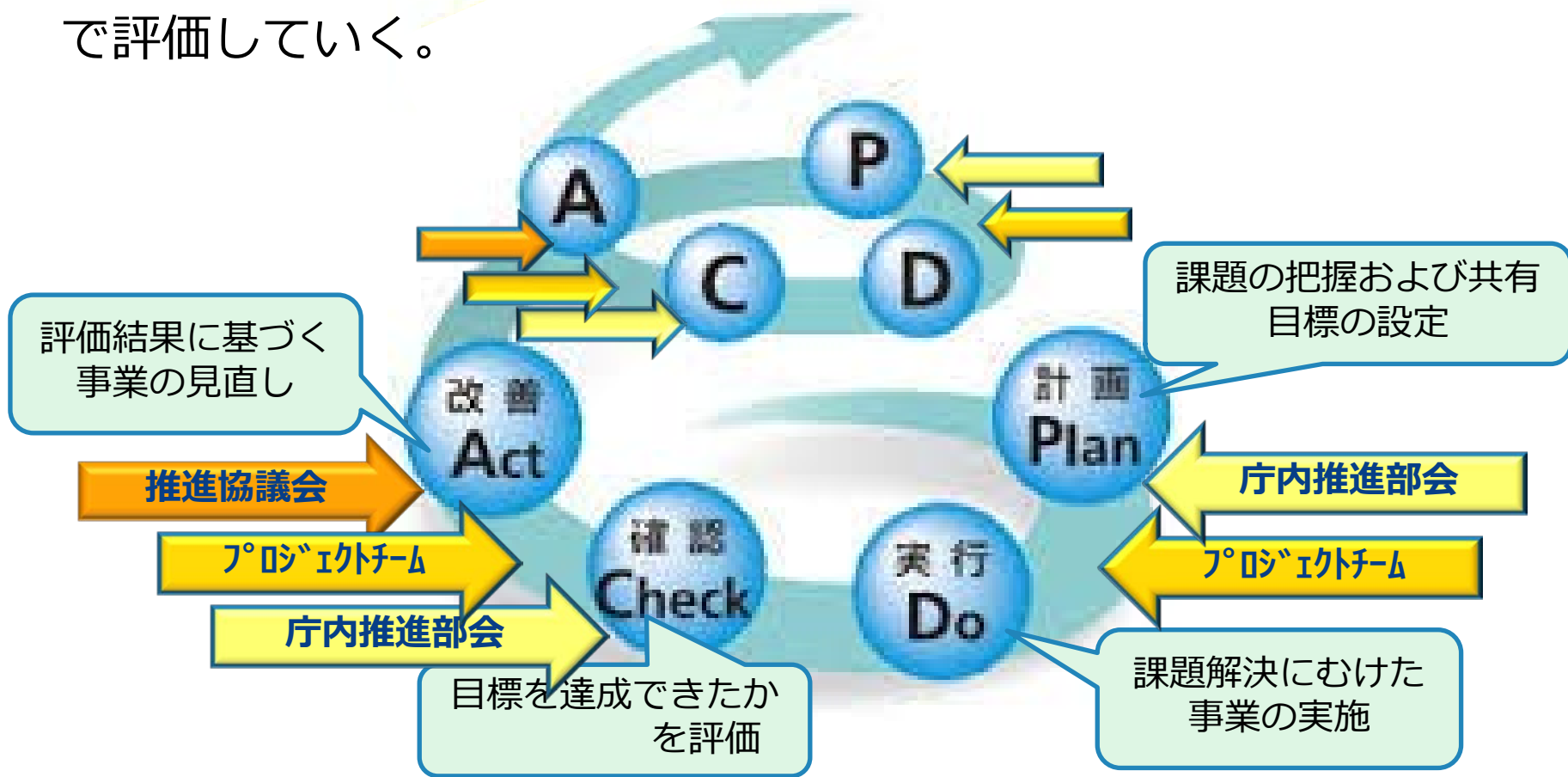


# 計画の推進体制



# 計画の進捗管理（各課事業）

- 課題にむけた施策の効果は、各課の事業において共通の視点をもって実施しているかどうかをPDCAサイクルで管理していく。
- 庁内推進部会・庁内プロジェクトチーム・健康都市推進協議会で評価していく。



# 計画の進捗管理（全体）

## 毎年度

eモニや市民まつり等で市民アンケートを実施し評価

- ①健康だと感じている市民の割合
- ②健康づくりに関する認識と取り組み
- ③課題に向けた施策の効果（各課の事業評価）

## 中間年度

後期取り組みにむけた前期計画期間の取り組みを評価

- ①疾患別医療費
- ②死亡率
- ③要介護認定者の疾患 等

## 最終年度

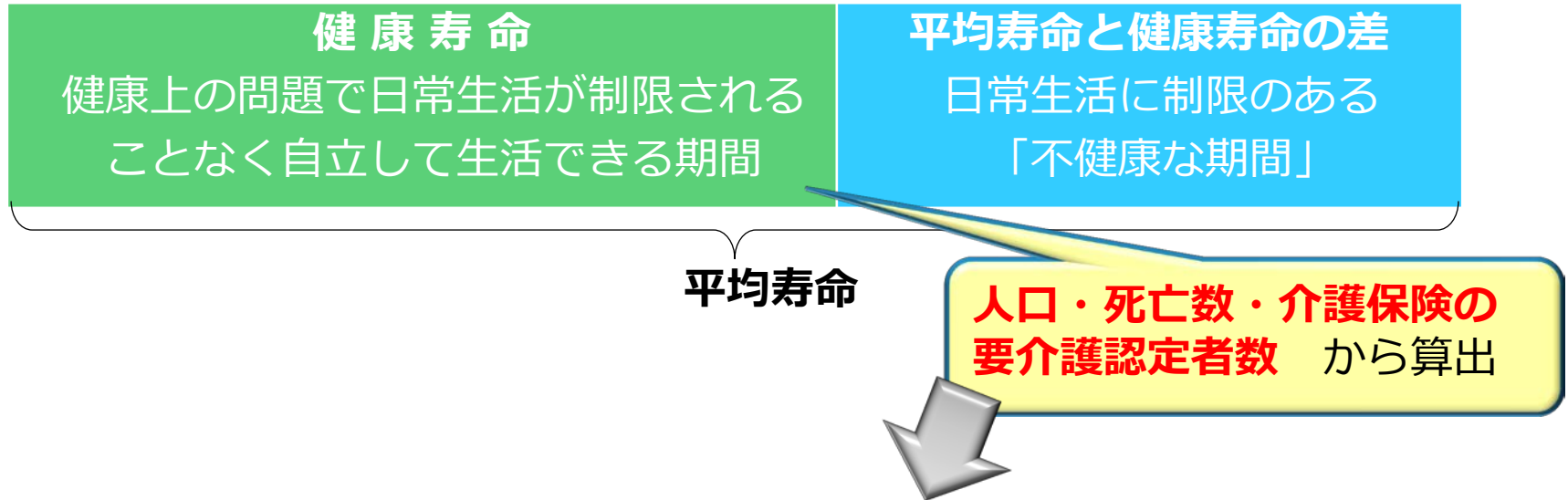
健康寿命を算出し評価

## 2. 目標達成にむけた具体的な取り組みについて

# 健康寿命とは

「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」

= **日常生活が自立している期間の平均**



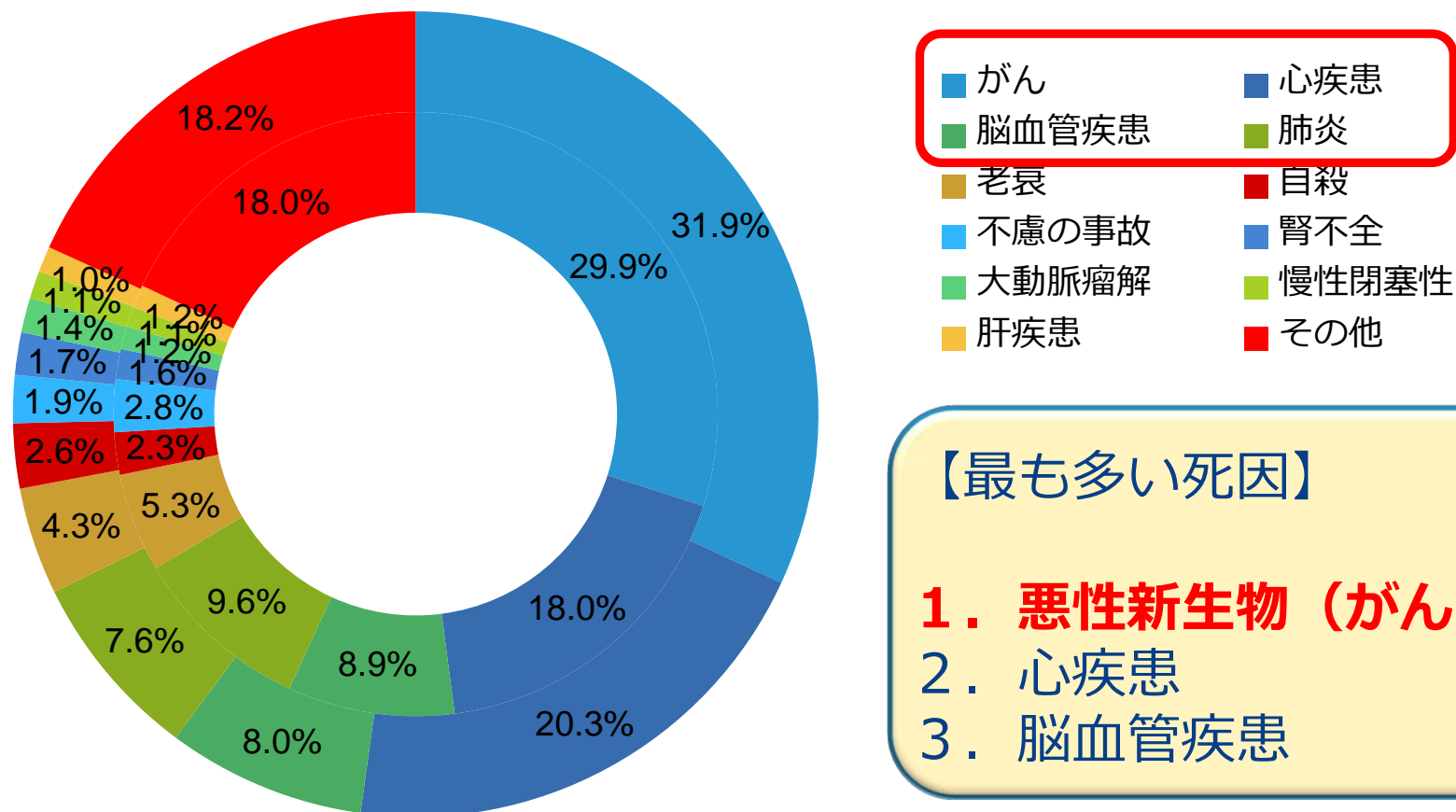
死亡率や要介護の原因となる **「生活習慣」を改善**

⇒死亡率、要介護認定者数の原因となる**生活習慣病を予防**

**健康寿命  
の延伸**

**いつまでも健康で長生き**できる市民の割合を増やす

# 死因別死亡割合



## 【最も多い死因】

1. 悪性新生物（がん）
2. 心疾患
3. 脳血管疾患

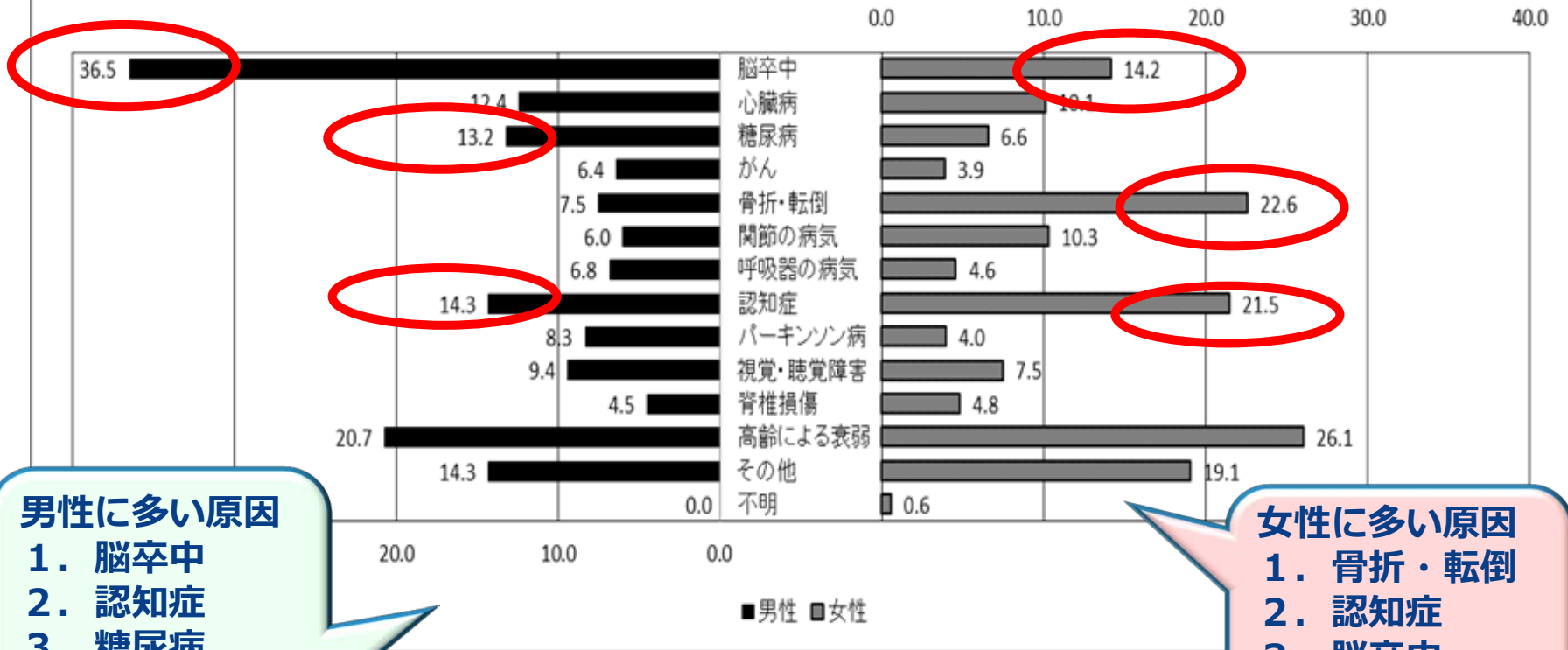
平成25年死因割合（外側：市川市、内側：千葉県）

死亡率を改善するためには、**悪性新生物（がん）**、**心疾患**、**脳血管疾患**への対策が必要である。

# 介護が必要になった原因

福祉・介護に関する市民意向調査結果書より

介護・介助が必要になった原因の割合(居宅サービス利用者、複数回答可)



## 男性に多い原因

1. 脳卒中
  2. 認知症
  3. 糖尿病
- ※衰弱は除く

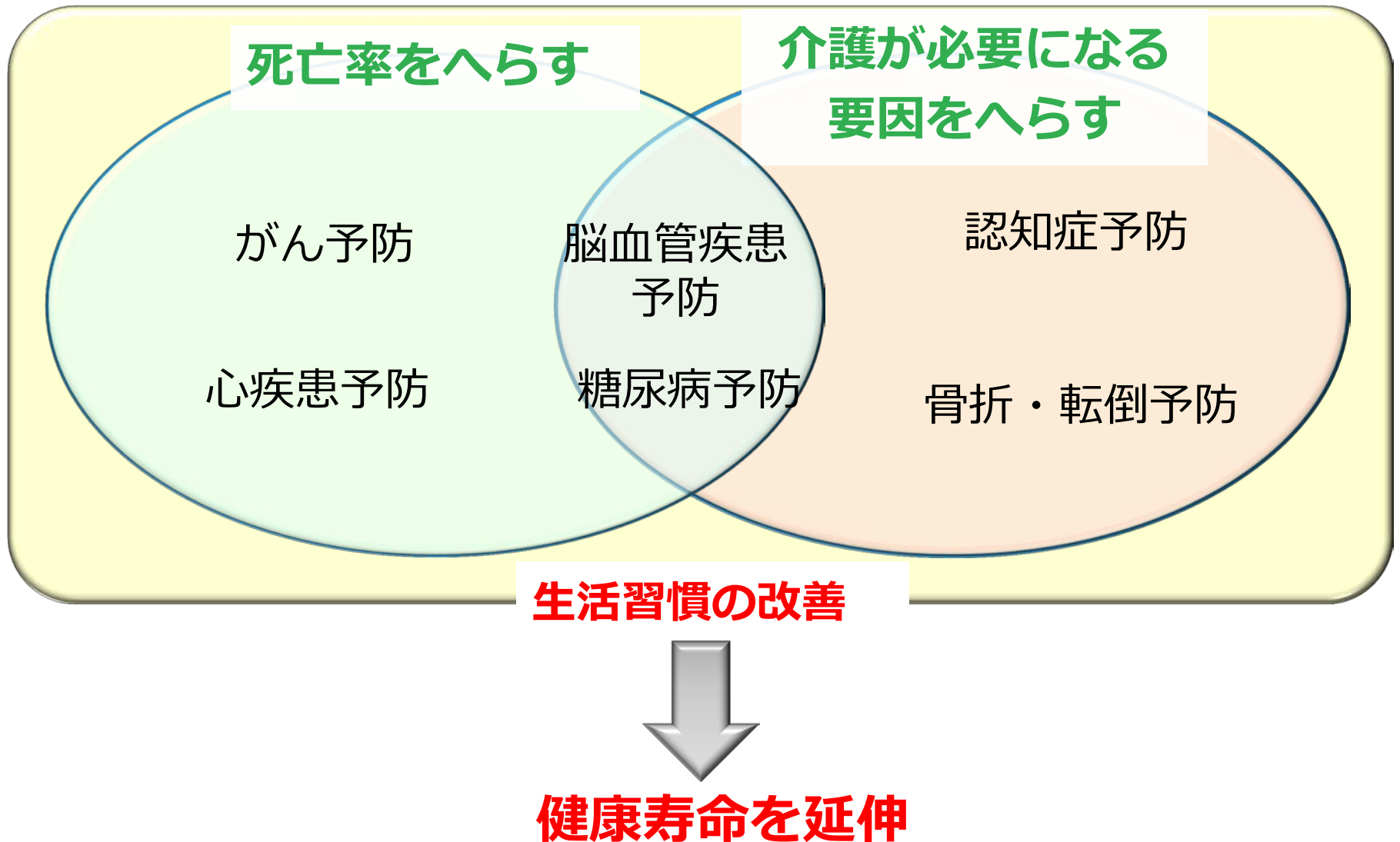
## 女性に多い原因

1. 骨折・転倒
  2. 認知症
  3. 脳卒中
- ※衰弱は除く

介護が必要となる原因を改善するためには、

**脳血管疾患、認知症、骨折・転倒、糖尿病対策**が必要である。

# 健康寿命を延伸するための対策





# 健康格差とは

住んでいる**地域**や、**所得**、**学歴**、**職業**、**人種**、**世代**、**性別**など個人が置かれた社会的な背景のちがいにより、地域や集団間に生じる**健康状態の差**。

健康格差はすべての社会階層で見られるが、**貧困**や**低学歴**、**職業的な地位が低い**など、**社会階層の低い人**のほうが、**健康状態が悪くなりやすい**といわれている。

## 個人の 問題

- ・健康に関心がない
- ・悪い生活習慣を送っている
- ・ストレスを抱えている
- ・孤立している など

## 社会的な 問題

- ・貧富の差がある
- ・教育の差がある
- ・地域のつながりがない など

## 環境的な 問題

- ・健康づくりに取り  
組む場所がない など

# 健康格差対策の3段階

健康格差縮小の実現

理念・情報・課題を共有する

課題に取り組む関連部署で、健康格差を縮小するための理念・情報・課題を共有する

格差やライフステージに応じた対策

健康格差やライフステージに配慮した対策を行い、評価・改善を行う

地域ぐるみの健康づくり

保健医療という枠をこえた様々な部門が協働することで地域ぐるみの健康づくりを実践する

庁内推進部会

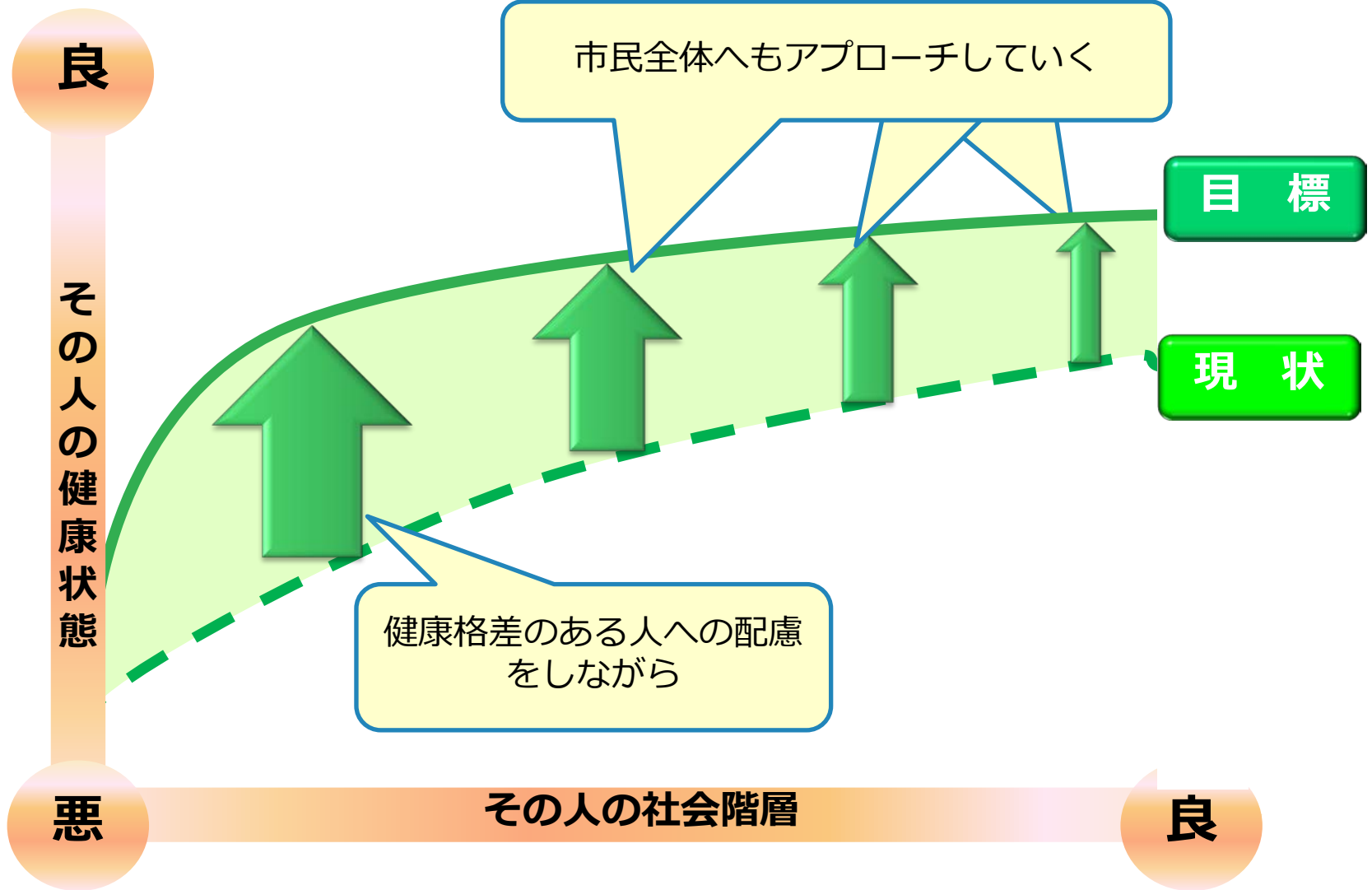
プロジェクト



推進協議会



# 健康格差に応じた対策とは



# 目標を達成するためのキーポイント

＜運動習慣者の割合＞ ※市川市基礎調査より



健康づくりに**無関心**で、実際に**不健康な健康行動**をとっている  
= **健康リスクの高い人**

市の健康づくり事業  
に参加しない  
健診受診もしない

健康づくりに関する  
事業に参加する市民  
→ **健康意識が高く**  
**健康度も比較的良い**

市の健康づくりに  
関する事業に既に  
参加している  
(リピーター)

健康づくりを定着し、地域全体の健康度を高めるためには  
**健康への関心の低い「健康無関心層」**へのアプローチが鍵となる！

# 目標を達成するための課題と視点

**課題**

## 生活習慣の改善



生活習慣の基本要素となる各分野における課題を把握し、取り組むことが必要！



計画策定時のアンケート調査、各種統計、事業実績等の資料より  
**各分野における課題を抽出**（別紙）

**視点**

## 健康無関心層へのアプローチ

健康への関心の低い市民もターゲットにして事業を展開していくことで、より効果的な事業を展開していく

# 各分野における課題

## 栄養・食生活

- ・ 男性は30代から、女性は40代から肥満の割合が増加
- ・ 20代～30代女性にやせの傾向
- ・ 男性20～40代、女性20代の2～3割が朝食を欠食
- ・ 主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事を取る人の割合が低下
- ・ 意識して野菜をとる人の割合が低い

## 運動

- ・ 約半数に運動習慣がなく、特に20～40代では運動習慣のない人がほとんど
- ・ 中高生で運動を習慣的にしている人は半数以下
- ・ 普段の生活の中で具体的に取り込める運動の提示や取り組みやすい環境づくりが必要

# 各分野における課題



## 心の健康

- 4人に1人は、睡眠による休養をとれていないため、睡眠や心の健康に関する知識について周知が必要
- ストレスを感じている人のうち、解消できている人は3割



## 飲酒

- 1日の適量を認識していない
- 1日の適量を超えて飲酒する女性の割合が増加
- 多量飲酒者（1日3合以上）が増加しており、生活習慣病発症する割合が高い

# 各分野における課題

## 喫煙

- ・ 女性の喫煙率が県と比較し高い
- ・ 健康への影響についての認知率が低い
- ・ 禁煙を希望しているものの実行できない人が多い

## 歯・口腔の健康

- ・ 1年に1回歯科健康診査を受診する人が少ない
- ・ かかりつけ歯科医を持つ人が少ない
- ・ 1日1回ていねいに歯を磨いている人の割合は増えているものの、歯周病の増加から正しく歯をみがけていない人が多い



### 3. 評価シートについて(説明)

# 健康マイレージ事業について

## 目的

若年層から高齢者までの幅広い世代の方が、健康的な生活を送るための意識の向上を支援することで、健康寿命を延伸する。

## 内容

- 運動・食事・心の健康・歯の健康・体重  
それぞれの目標について取り組めたかどうかを記録
- 健診やがん検診を受けたときに記録
- 健康に関する講座やスポーツイベントに参加したときに記録

いちかわ健康マイレージ H28年度

健康づくりに取り組んで  
健康とステキな景品をゲットしよう!

いちかわ健康マイレージって何?  
Web システムを使った市民の健康づくりを応援するサービスです。運動や食事、健診などの健康づくりに取り組むと、ポイントがたまります。ためたポイントはステキな景品と交換できます。

携帯電話・スマートフォン・パソコンから  
カンタン登録!

いちかわ健康マイレージ 検索

携帯電話またはスマートフォンで QR コードを読み取る、自動的にログインページにアクセスします。  
お使いの携帯電話で QR コードが読み取れない、またはパソコンでの登録の場合は、以下の URL に直接アクセスしてください。

<https://ichikawa-mileage.com/kmweb/kenko>

# 健康マイレージ事業の課題および取り組み

## 市川市の課題のうち該当するもの

- ・ 運動習慣がない。
- ・ 意識して野菜を摂る人の割合が少ない。
- ・ 肥満の割合が増加している。
- ・ 睡眠による休養をとれていない人がいる。
- ・ 歯を正しく磨けていない人が多い。

## 課題に対する健康無関心層

健康づくりに関心がなく、また取り組む時間もない若い世代

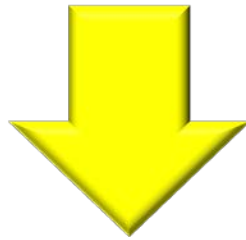
## 課題に対する具体的な取り組み

健康に関心のない若年層として、小さい子供をもつ親世代をターゲットに事業の周知を行うことで、健康づくりのきっかけづくりを図る。

# H28年度に実施した取り組み

## <今まで>

- ・ 広報やホームページ、eモニターアンケートにてPR
- ・ イベントでリーフレット配布
- ・ 健診来所者や自治会でのリーフレット配布



## <H28年度>

- ・ 広報やホームページ、**デジタルサイネージ**にてPR
- ・ **市内医療機関、歯科医療機関**にて**ポスター及びカード掲示**
- ・ **市内公共施設**での**ポスター及びカード掲示**
- ・ 健診来所者やイベント、自治会でのリーフレット配布
- ・ **特定保健指導対象者**への**リーフレット配布**
- ・ **健康都市推進協議会**にてPR

# H28年度 健康マイレージ事業 実績

1. 登録者数：1,295名 (H29年2月20日現在)

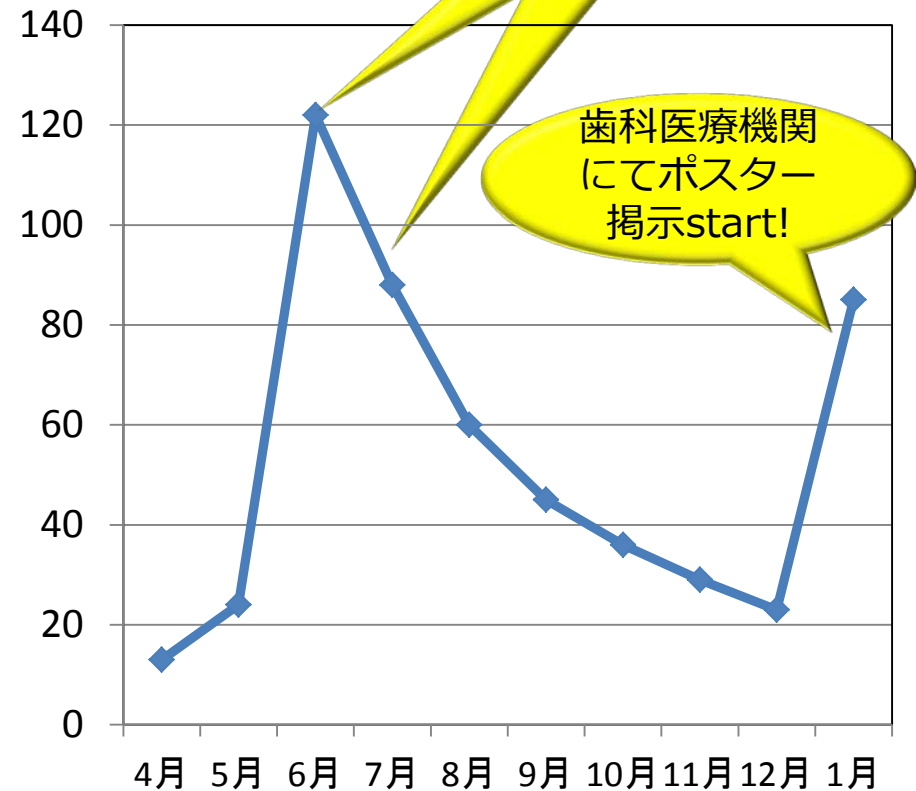
2. 稼働者数：506名

登録者に占める割合：39.1%

【新規登録者数】 (単位：人)

月	新規登録者数	周知状況
4月	13	
5月	24	ポスター・カード配布 (市内各施設等)
6月	122	広報特集号掲載、 <b>市内医療機関</b> にて配布
7月	88	民生委員地区協議会にて配布
8月	60	
9月	45	こころの健康市民講座にて配布
10月	36	
11月	29	
12月	23	健康都市推進講座にて配布
1月	85	自治会に配布、 <b>市内歯科医療機関</b> にて配布
計	525	
月平均	53	

【月別推移】

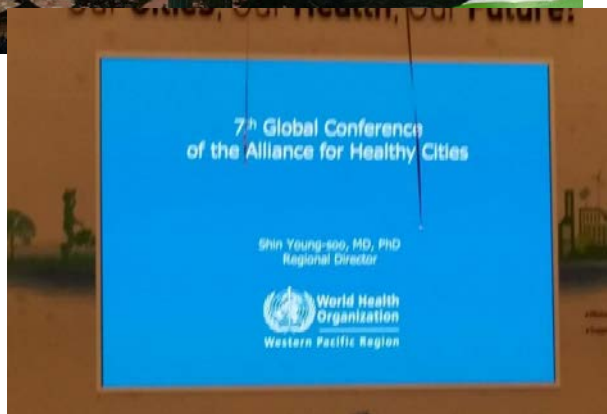


# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 第7回健康都市連合国際大会 参加報告書



保健医療課

# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 健康都市連合(AFHC)

都市の住民の健康を守り、  
増進することを目的とした国際的なネットワーク

目的	健康都市の手法やその考え方について情報や経験を都市や団体間で積極的に共有すること
設立日	平成15年10月17日
設立会議会場	フィリピン・マニラ市

## 健康都市連合憲章

連合の理念と行動を具体化し、  
活動の指針となるべきものとして公布



# 第7回健康都市連合国際大会

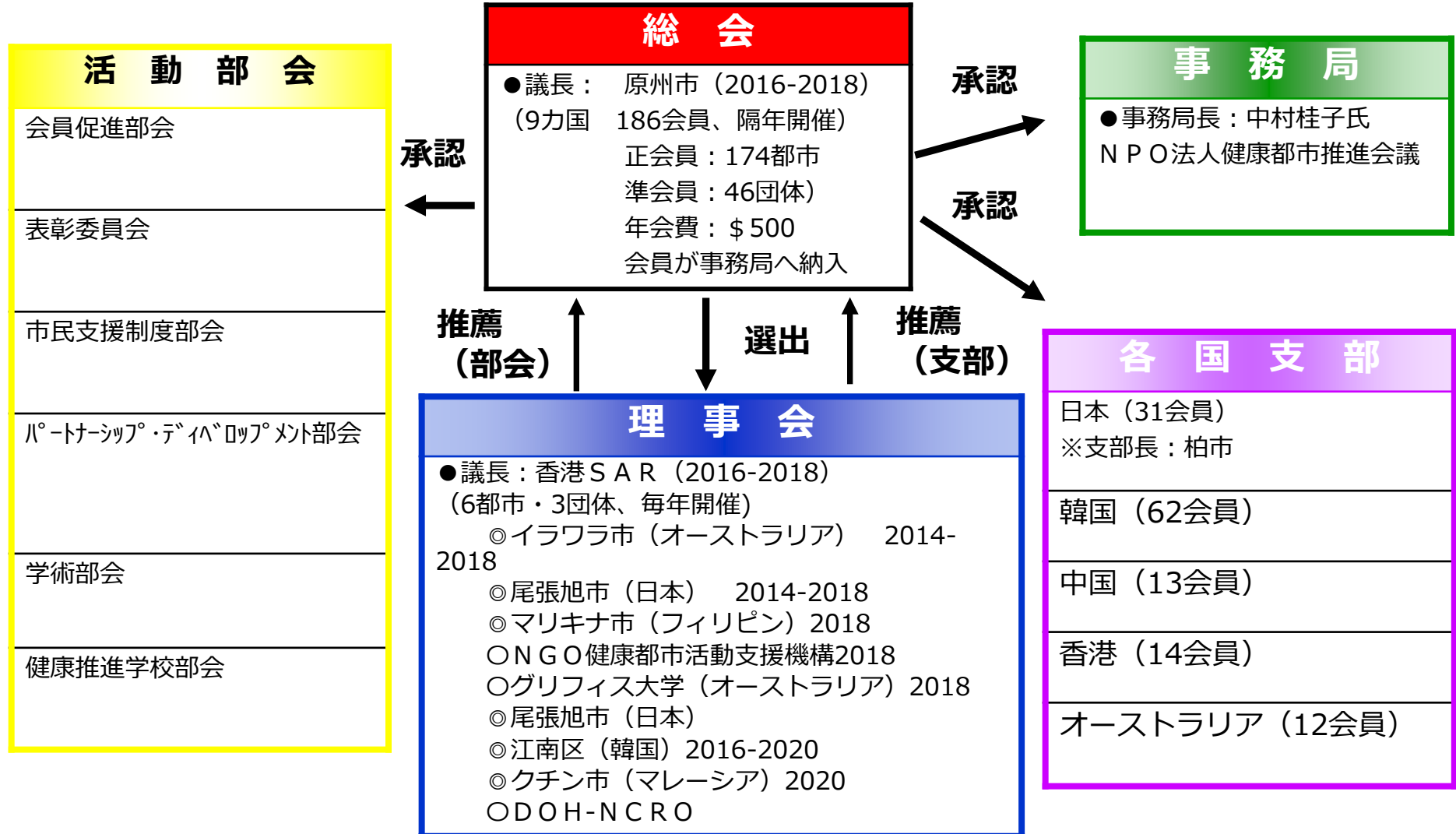
平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

平成24年10月26日現在

※市川市作成

## 健康都市連合組織図





# 第7回健康都市連联合国際大会

平成28年8月29日（月）～31日（水）

大韓民国原州市

## 大会概要

大会日 平成28年8月29日（月）～31日（水）※大会は、9月1日まで

開催会場 大韓民国原州市ハンソル・オークバレーリゾート

## メインテーマ

# Our Cities, Our Health, Our future

(私たちのまち、私たちの健康、私たちの未来)

## サブテーマ

- ・ヘルシーセッティング
- ・高齢者にやさしい都市
- ・運動による健康増進
- ・健康の社会的要因
- ・芸術、音楽、ガーデニング、運動によるヒーリングセラピー
- ・すべての政策で健康を
- ・メンタルヘルスと自殺防止
- ・生活習慣病予防
- ・禁煙都市
- ・災害時の非感染性疾患と強靱な都市

# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 開催地について

### ●原州市の位置



### ●市川市との交流



大洲防災公園の視察



中央図書館の視察



ツーデーマーチの参加

# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 大会主催者

◆原州市・健康都市連合 (AFHC)

## 大会日程

	8/29(月)	8/30(火)	8/31(水)
午前	開会式 基調講演1 市長フォーラム	分科会	第7回健康都市連合総会 本講演 閉会式
午後	本講演 WHO/AFHC表彰式	分科会	分科会 視察研修 (市内施設視察・技術視察)

参加人数： 14か国2地域から700名以上

## 出席者

◆保健部 保健医療課 主幹 毛利 洋美  
主事 齋藤 美佳

# 第7回健康都市連联合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 開会式あいさつ



大韓民国原州市長。健康都市連合理事会議長。

ウォーキングイベントや図書の交換等で市川市と交流を行っている。



リ・ヘシク 大韓民国ソウル特別市江東区長。

健康都市連合韓国支部長。

## 基調講演



シン・ヤン・スー 2009年WHO西太平洋地域事務局長に就任。

題目：「私たちのまち、私たちの健康、私たちの未来のための持続可能な開発目標」

# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 本講演

### 健康的で回復力のある都市の構築に向けたフォーサイト手法 ～シンガポールの経験～

フォーサイト手法

予測



発見



選択

- ◆フォーサイト手法を利用した取り組み  
例) 川をきれいにし、カワウソの生息地を作る



# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 市川市の事例発表

### 「BJ☆Project」

- 目的  
本市の防災施策を女性の視点から再検証し、市長提言すること。
- 構成員  
庁内の女性職員20名



提言書の提出の様子



分科会での発表の様子

# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 他市の事例紹介①

### 「貧困から幸福へ」：台湾台東県の変化

健康の核 = 経済



観光業に力を入れる

- 気球
- サーフィン
- トライアスロン 等



#### 経済改善

- ・失業率の低下
- ・金融預金の増
- ・世帯収入の増
- ・国税の増



#### 健康改善

- ・肝臓がんの死亡率の減
- ・子宮頸がんの死亡率の減
- ・喫煙率の減
- ・飲酒率の減 等

# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

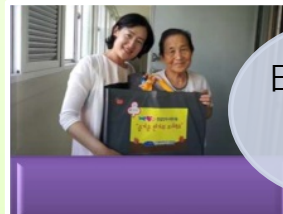
## 他市の事例紹介②

### 「命を抱きしめて ～高齢者による自殺防止システム～」

#### 鬱病に関する健診システム



シニアの  
養成



日常生活の  
サポート



訪問





# 第7回健康都市連合国際大会

平成28年8月29日(月)～31日(水)

大韓民国原州市

## 総会決議事項

- 事務局報告・財務報告
- 2016～2020年の運営委員会の選挙結果の承認

旧理事	新理事
日本・大和市	日本・尾張旭市
韓国・原州市	マレーシア・クチン市
モンゴル・ダルハン市	フィリピン保健省首都地域事務所
	韓国・ソウル特別市江東区

- 国際大会・総会の開催地と議事都市の選択

2016年開催地	2018年開催地
韓国・原州市	マレーシア・クチン市

- 新会員の認証

日本から鹿児島県南さつま市が認証されたほか、韓国・中国を初め多くの都市が新会員として認証された。

## 第 7 回健康都市連合国際大会情報提供



平成 28 年 8 月 29 日（月）～31 日（水）に開催されました第 7 回健康都市連合国際大会の情報が、健康都市連合（AFHC）のサイトにアップされていますので情報提供させていただきます。

- 第 7 回健康都市連合国際大会のサイトへの入り方  
検索エンジンで

「The 7th Global Conference of the Alliance for Healthy Cities」と検索してください。（訳：第 7 回健康都市連合国際大会）

クリックすると開催市である原州市作成のホームページを見ることができます。（英語）

- プログラムにある画像やパワーポイントを下記から視聴することができます。  
<https://www.dropbox.com/sh/63kw35yyqsxs9tx/AAB2X09EQtzaDPvqr911DLuza?dl=0>

※Dropbox のダウンロードが必要になります。

ご興味のある方は、下記までメールをいただければ、リンク先をお送り致します。ぜひ、ご活用ください。

### 【お問い合わせ先】

市川市 保健部 保健医療課

健康都市・健康づくり推進担当グループ

E-mail : [healthycity@city.ichikawa.chiba.jp](mailto:healthycity@city.ichikawa.chiba.jp)

## 「受動喫煙のない社会を目指して」ロゴマークについて

受動喫煙が健康に悪影響を及ぼすことは、明らかであり、肺がんや心筋梗塞、脳卒中に加え、妊娠・出産へのリスク、子どもの呼吸器症状や乳幼児突然死症候群など、全身の病気のリスクを高めることがわかっており、また、受動喫煙の影響で、毎年、世界で60万人が死亡しています。

これを踏まえ、受動喫煙防止対策の必要性という共有認識を広め、多くの人々が受動喫煙のない社会を目指すことに賛同し、社会的気運を向上するために、「受動喫煙のない社会を目指して」ロゴマークを2016年11月に厚生労働省が発表しました。

このマークは、喫煙者の行動を規制するものでも、禁煙スペースの告知でもありません。受動喫煙のない社会に賛同する個人や団体、組織がその意思を表明するためにウェブサイトや印刷物、名刺に使用するなど、このロゴマークを幅広く活用していただくようお願い致します。



ロゴマークの使用は無料です。ただし、デザインやキャッチフレーズは変えてはいけない等の使用制限がありますのでご使用される際はご確認ください。

ロゴマークのダウンロード、使用規定及び使用ガイドラインについては厚生労働省のホームページにアクセスしてください。

URL : <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000129415.html>

**健康いちかわ21（第2次）  
各課事業シート**

# 保健医療課

## 健康マイレージ事業

事業目的	目標
若年層から高齢者まで幅広い世代の方が、健康的な生活を送るための意識の向上を支援することで、健康寿命を延伸する。	若年層へのアプローチを行うことで、登録者数増をはかる。

### 事業概要

WEBシステムを使った市民の健康づくりを応援するサービスとして、パソコンや携帯電話などを使って日々の運動や食事などの健康に関する目標を設定し、市民が楽しく健康づくりに取り組める動機づけを行い市民の健康のサポートを行っている。

項目：運動、食事、休養、歯、体重測定

対象	分野	
20歳以上市民	栄養・食生活	○
	身体運動・活動	○
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康	○
②少年期（6～15歳）	飲酒	
③青年期（16～29歳）	○	喫煙
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策

### 課題

運動習慣がない。  
意識して野菜を摂る人の割合が少ない。  
肥満の割合が増加している。  
睡眠による休養をとれていない人がいる。  
歯を正しく磨けていない人が多い。

### 課題における視点「健康無関心層」

健康づくりに関心がなく、また取り組む時間もない若い世代

### 事業の実施方法

健康に関心のない若年層として、小さい子供をもつ親世代をターゲットに事業の周知を図ることで、健康づくりのきっかけづくりを図る。

# 保健医療課

## エイズ予防啓発事業

事業目的	目標
市川エイズ等STD対策協議会と連携し、正しい知識の普及と啓発を行う。	予防キャンペーンを実施する。

事業概要
市川エイズ等STD対策協議会の事務局運営。 12月1日世界エイズデーに併せて予防啓発キャンペーンを実施する。

対象	分野
市民及び市内への通勤通学者	栄養・食生活
	身体運動・活動
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康
②少年期（6～15歳）	○ 飲酒
③青年期（16～29歳）	○ 喫煙
④壮年期（30～44歳）	歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）	健診・がん検診
⑥高齢期（65歳以上）	感染症対策 ○

課題
性感染症の原因と予防について正しい知識を普及する必要がある。

課題における視点「健康無関心層」
性感染症に対する知識や関心のない若年層

事業の実施方法
若年層を主のターゲットとして予防啓発を行う。

# 保健医療課

## 健康都市推進事業

事業目的	目標
市民・行政・事業者が協働で健康都市を推進していくための環境を整え、健康都市の実現を目指す。	人の健康づくりを中心として市民の健康づくりに取り組むことで、健康都市いちかわを推進していく。

## 事業概要

市川市健康都市推進協議会、健康都市庁内推進会議の運営および健康都市推進員の事務局運営。

健康都市の考え方の普及と、健康に関心をもつ市民を増やし、健康都市を推進していくため健康都市推進講座(和洋女子大学)を開催する。

対象	分野
全市民	栄養・食生活 ○
健康都市推進員	身体運動・活動 ○
①乳幼児期(0～5歳)	心の健康 ○
②少年期(6～15歳)	飲酒 ○
③青年期(16～29歳) ○	喫煙 ○
④壮年期(30～44歳) ○	歯・口腔の健康 ○
⑤中年期(45～64歳) ○	健診・がん検診
⑥高齢期(65歳以上) ○	感染症対策

## 課題

各分野全ての課題に該当

## 課題における視点「健康無関心層」

健康づくりに関心がない市民

健康づくりに取り組む機会や環境がない市民

## 事業の実施方法

健康都市推進講座は課題の中からテーマを選択するとともに、関心のない市民にも興味をもってもらえるよう周知場所等を工夫する。

# 保健医療課

## 健康都市地域活動支援事業

### 事業目的

「健康都市いちかわ」の実現にむけた地域でのつながりや、地域間の広がりを促す。

### 目標

市民の健康に関する関心を深められるような研修会・講演会を実施する。

### 事業概要

健康都市推進員が地域で活躍するための人材育成、及び市民の健康に関する関心を深めるため、健康増進や健康寿命延伸に関する研修会や講座・講演会を実施する。

### 対象

全市民

健康都市推進員

①乳幼児期（0～5歳）

○

②少年期（6～15歳）

○

③青年期（16～29歳）

○

④壮年期（30～44歳）

○

⑤中年期（45～64歳）

○

⑥高齢期（65歳以上）

○

### 分野

栄養・食生活

○

身体運動・活動

○

心の健康

○

飲酒

○

喫煙

○

歯・口腔の健康

○

健診・がん検診

感染症対策

### 課題

各分野全ての課題に該当

### 課題における視点「健康無関心層」

健康づくりに関心がない市民

健康づくりに取り組む機会や環境がない市民

### 事業の実施方法

講座や健康都市推進員主催のイベント等を開催する際、健康に関心のない市民もひきつけられるようなイベントを開催する。



# 保健医療課

## 健康都市ネットワーク事業

事業目的	目標
国内外の健康都市連合に加盟している都市から発信される情報を収集し、市民に還元する。	日本支部大会に参加し、情報収集を行う。

事業概要
健康都市連合と健康都市連合日本支部の活動を通し、先進市と情報・経験を共有することで健康都市を推進していく。

対象	分野		
全市民	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	○	心の健康	○
②少年期（6～15歳）	○	飲酒	○
③青年期（16～29歳）	○	喫煙	○
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康	○
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診	
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策	

課題
各分野全ての課題に該当

課題における視点「健康無関心層」
「健康都市いちかわ」の取り組みについて知らない市民

事業の実施方法
健康都市推進員の活動を通し、様々な場所で情報発信することで、健康都市への理解を深める。

# 健康支援課

## 健康相談事業

事業目的	目標
<p>母子) 妊娠期から乳幼児期の母子に対し、相談・支援を行うことで、心身の健康・栄養・歯科に関する不安を軽減すると共に、児童虐待の防止を図る。</p> <p>成人) 成人・高齢者に対し、相談・支援を行うことで心身の健康・栄養・歯科に関する不安を軽減する。</p>	<p>母子) 母子保健相談窓口の充実を図ることで、児童虐待の防止を図る。</p> <p>成人) 各年齢層における健康づくりを支援する。</p>

## 事業概要

母子) 専門職による母子健康手帳交付及び面接相談により妊娠期から乳幼児期までの継続した支援を行う。母子保健相談窓口（アイティ）の開設および母子保健相談事業の実施をとおり、母子の育児不安を軽減する。

成人) 電話や面接等により、健康及び食生活や歯科に関する心配がある方の助言・指導を行う。体力測定や骨の健康度測定に基づく保健指導を実施し、健康づくりを支援する。

対象	分野		
全市民	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	○	心の健康	○
②少年期（6～15歳）	○	飲酒	○
③青年期（16～29歳）	○	喫煙	○
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康	○
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診	
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策	

## 課題

各分野全ての課題に該当

### 課題における視点「健康無関心層」

自身や家族の健康に関心が低く、相談窓口も知らず、健康づくりに取り組む時間や機会がない市民

## 事業の実施方法

母子) 母子保健相談窓口の整備により、専門職による母子健康手帳交付時面接を実施し、要支援対象者の把握をする。育児相談・4か月あかちゃん講座等で相談を実施する。

成人) 体力測定、骨健康度測定を実施し、成人・高齢者の健康づくりの支援する。

# 健康支援課

## 健康教育事業

事業目的	目標
母子) 市民が安心して妊娠・出産・育児ができるよう、集団を対象に健康教育を実施することで、母子の健康保持増進に努める。 成人) 自らの健康に対する認識と自覚を高め、健康の保持増進を図る。	母子) 妊娠・出産・育児に関する保健指導を行う。 成人) 生活習慣病の予防に向け、市民の生活習慣の改善を図る。

## 事業概要

母子) 妊婦から乳幼児を対象とした講座の実施や、地域からの依頼により随時、出向いて健康教育を実施することで、母子の健康に関する正しい知識・情報の発信を行う。  
成人) 成人・高齢者を対象とした講座の実施や地域からの依頼により随時、出向いて健康教育を実施することで、心身の健康・栄養に関する正しい知識・情報の発信を行う。

対象	分野	
全市民	栄養・食生活	○
	身体運動・活動	○
①乳幼児期(0~5歳)	○	心の健康
②少年期(6~15歳)	○	飲酒
③青年期(16~29歳)	○	喫煙
④壮年期(30~44歳)	○	歯・口腔の健康
⑤中年期(45~64歳)	○	健診・がん検診
⑥高齢期(65歳以上)	○	感染症対策

## 課題

各分野全ての課題に該当

## 課題における視点「健康無関心層」

自身や家族の健康に関心が低く、健康づくりに取り組む時間や機会がない市民

## 事業の実施方法

母子) 妊婦とその家族を対象としたプレ親学級・栄養講座を実施する。離乳食講座、歯の衛生に関する講座を実施する。  
成人) 生活習慣病予防に関する講座を実施する。(講座名は興味・関心が向くようなネーミングにする)

# 健康支援課

## 訪問指導事業

事業目的	目標
母子) 家庭訪問を実施することにより、育児不安の軽減、産後うつの予防、母子の健康の保持増進、乳幼児虐待の防止を図る。 成人) 家庭訪問を実施することにより、成人・高齢者の健康の保持増進を図る。	母子) 対象者の把握に努め、適切な時期に訪問を行う。 成人) 対象者の把握に努め、適切な時期に訪問を行う。

## 事業概要

母子) 出産後、早期に新生児、1・2か月児の家庭訪問を行い、育児に対する保健指導を行う。その他指導が必要と思われる母子へ訪問し、状況に応じた保健指導を実施する。  
成人) 心身の状況及び生活環境等から療養上の保健指導が必要な方に対し訪問し、本人及び家族等に必要な助言・保健指導を行う。

対象	分野		
全市民	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動		
①乳幼児期(0～5歳)	○	心の健康	○
②少年期(6～15歳)	○	飲酒	○
③青年期(16～29歳)	○	喫煙	○
④壮年期(30～44歳)	○	歯・口腔の健康	○
⑤中年期(45～64歳)	○	健診・がん検診	
⑥高齢期(65歳以上)	○	感染症対策	

## 課題

各分野全ての課題に該当

## 課題における視点「健康無関心層」

母子) 未関わり児(出生連絡票未送付等)  
成人) 健康問題に関心が低い市民

## 事業の実施方法

母子) 新生児・1・2か月児への全戸訪問の中で、未関わりだった母子の生活状況を把握し、訪問を実施する。  
成人) 訪問し、生活環境に配慮した相談・助言を行う。

# 健康支援課

## 健康診査事業

事業目的	目標
母子) 疾病を早期に発見し、心身障害の発生を予防するとともに、妊婦・乳幼児の健康の保持増進を図る。 成人) 歯や口腔内の健康を保つことで生活習慣の改善につなげる。	母子) 健診の目的を伝えることで、受診の必要性を理解してもらい、受診者を増やす。 成人) 健診の目的を伝えることで、受診の必要性を理解してもらい、受診者を増やす。

## 事業概要

母子) 妊婦・乳児健康診査を医療機関に委託し、実施する。1歳6か月児・3歳児健康診査を実施する。(一部医療機関へ委託)  
成人) 歯科に関する健康診査を実施する。

対象	分野	
母子) 妊婦・乳幼児	栄養・食生活	○
成人) 対象年齢に該当する成人	身体運動・活動	○
①乳幼児期(0～5歳)	○	心の健康
②少年期(6～15歳)	○	飲酒
③青年期(16～29歳)	○	喫煙
④壮年期(30～44歳)	○	歯・口腔の健康
⑤中年期(45～64歳)	○	健診・がん検診
⑥高齢期(65歳以上)		感染症対策

## 課題

各分野全ての課題に該当

## 課題における視点「健康無関心層」

母子) 妊娠・出産・育児に関心のない市民・望まない妊娠出産や被虐待歴のある市民・乳幼児の健診に関心のない保護者  
成人) 30～50歳の働き盛り世代

## 事業の実施方法

母子) 母子健康手帳交付面接時に妊婦健診・乳児健診の受診勧奨を行う。幼児健診の受診が遅れている対象者に対し、受診勧奨ハガキを郵送する。健診未受診者に対しては訪問等により幼児及び保護者の状況を確認する。  
成人) 30～50歳の働き盛り世代への歯周疾患検診を周知する。

# 健康支援課

## 推進員活動事業

### 事業目的

保健推進員及び食生活改善推進員を委嘱し、地域住民の健康づくりを推進する。

### 目標

家族の健康づくりを支援する。

### 事業概要

保健推進員・食生活改善推進員を委嘱し、市民の健康増進に寄与する活動を行う。  
3か月児の全戸訪問で、育児相談事業など市の子育てサービスの情報を提供する。  
食生活改善推進員による、おとなの食育講習会を実施する。  
食生活の相談窓口となる。

### 対象

全市民

### 分野

栄養・食生活

○

身体運動・活動

○

①乳幼児期（0～5歳）

○

心の健康

○

②少年期（6～15歳）

○

飲酒

③青年期（16～29歳）

○

喫煙

④壮年期（30～44歳）

○

歯・口腔の健康

○

⑤中年期（45～64歳）

○

健診・がん検診

⑥高齢期（65歳以上）

○

感染症対策

### 課題

各分野全ての課題に該当

### 課題における視点「健康無関心層」

自身の健康に関心が低く、健康づくりに取り組む時間や機会がない市民（子育て中の女性層等）

### 事業の実施方法

- ・保健推進員による3か月児あかちゃんへの全戸訪問を行う。
- ・保健推進員による地域の育児支援及び健康づくりを支援する。
- ・食生活改善推進員による、おとなの食育講習会等を開催する。

# 健康支援課

## 自殺予防対策事業

事業目的	目標
市川市における自殺者及び未遂者の実態や特性を把握し、その地域の実情に応じた自殺対策を計画・実施することにより、自殺等に関する正しい知識の普及・対策を進め、自殺者の減少を図る。	若年層への普及・啓発及び相談窓口の充実を図る。

事業概要
市川市の自殺・自殺未遂の実態に応じ、自殺に関する知識の普及・啓発、相談窓口の充実など自殺予防対策事業を実施する。

対象	分野	
全市民	栄養・食生活	
	身体運動・活動	
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康	○
②少年期（6～15歳）	飲酒	
③青年期（16～29歳）	喫煙	○
④壮年期（30～44歳）	歯・口腔の健康	○
⑤中年期（45～64歳）	健診・がん検診	○
⑥高齢期（65歳以上）	感染症対策	○

課題
こころの健康への関心が低い

課題における視点「健康無関心層」
こころの健康、人間関係の構築に関心の低い若年層

事業の実施方法
<ul style="list-style-type: none"><li>・こころの健康につながる講座、相談事業を実施する。</li><li>・相談窓口リーフレットを作成し、周知する。</li></ul>

# 健康支援課

## 食育の推進

### 事業目的

妊婦、乳幼児から高齢者に至るまでの生涯を通じた食育の推進に寄与する。

### 目標

第二次市川市食育推進基本計画の評価、第三次市川市食育推進基本計画の策定。

### 事業概要

食育基本法第18条による市町村計画である「市川市食育推進計画」に基づき、市川市の総合的かつ効果的な食育を推進する。

### 対象

全市民

### 分野

栄養・食生活

○

身体運動・活動

①乳幼児期（0～5歳）

○

心の健康

②少年期（6～15歳）

○

飲酒

③青年期（16～29歳）

○

喫煙

④壮年期（30～44歳）

○

歯・口腔の健康

⑤中年期（45～64歳）

○

健診・がん検診

⑥高齢期（65歳以上）

○

感染症対策

### 課題

栄養・食生活の分野全ての課題に該当

### 課題における視点「健康無関心層」

食育に関心がない市民

食育に取り組む機会や環境がない市民

### 事業の実施方法

ライフステージに沿った食育の推進



# 疾病予防課

## 健康診査事業

### 事業目的

生活習慣病の早期発見・早期治療に資するとともに、生活習慣の改善を図り、糖尿病等の生活習慣を予防する。

### 目標

受診率の向上

### 事業概要

「高齢者の医療の確保に関する法律」及び「健康増進法」に基づき、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健康診査（準ずる健康診査）を実施する。

### 対象

40～74歳国保加入者。千葉県後期高齢者医療保険加入者  
生活保護受給中の40歳以上の市民(特定健康診査、準ずる健診)

### 分野

栄養・食生活

○

身体運動・活動

○

①乳幼児期（0～5歳）

心の健康

②少年期（6～15歳）

飲酒

③青年期（16～29歳）

喫煙

④壮年期（30～44歳）

○

歯・口腔の健康

⑤中年期（45～64歳）

○

健診・がん検診

○

⑥高齢期（65歳以上）

○

感染症対策

### 課題

若年層の特定健診受診率が低い

### 課題における視点「健康無関心層」

特定健康診査の習慣がない人（特に受診率が低い若年層）

### 事業の実施方法

若年層を主のターゲットとして受診勧奨を行う。

# 疾病予防課

## 特定保健指導事業

事業目的	目標
特定健康診査の結果により、内臓脂肪症候群に着目し、生活習慣病の発症リスクの高い方に向け、保健指導を行うことで、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化の予防につなげる。	実施率の向上

## 事業概要

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき策定された、「市川市特定健康診査等実施計画」のもと、特定健康診査の結果から対象者となった方に特定保健指導を実施する。

対象	分野		
40～74歳の国保加入者	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康		
②少年期（6～15歳）	飲酒		
③青年期（16～29歳）	喫煙		
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康	
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診	○
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策	

## 課題

特定保健指導の実施率が目標値に到達していない。

## 課題における視点「健康無関心層」

対象者全層

## 事業の実施方法

申し込みのない対象者に対して勧奨を行う。

# 疾病予防課

## がん検診事業

事業目的	目標
生活習慣病対策の一環として、死亡順位1位であるがんの早期発見・早期治療の徹底を図るとともに、がんの予防に対する市民の関心を高めることを目的とする。	受診率の向上

事業概要
「健康増進法」に基づき、がんの早期発見・早期治療のため、がん検診を実施する。

対象	分野
女性：20歳以上偶数歳及び30歳以上の人 男性：40歳以上の人	栄養・食生活
	身体運動・活動
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康
②少年期（6～15歳）	飲酒
③青年期（16～29歳）	○ 喫煙
④壮年期（30～44歳）	○ 歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）	○ 健診・がん検診
⑥高齢期（65歳以上）	○ 感染症対策

課題
国が目標としているがん検診受診率50%に達していない。

課題における視点「健康無関心層」
40～69歳の人 子宮がんは20～69歳の人

事業の実施方法
受診券による受診勧奨

# 疾病予防課

## 肝炎啓発・検診受診勧奨事業

事業目的	目標
肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させるとともに、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させることを目的とする。	受診率の向上

**事業概要**  
国や医師会と協働して、肝炎検診未受診者や検診精検対象者などへの受診啓発を行い、市民の健康への自己管理意識を高めるよう推進する。

対象	分野
肝炎検診または精密検査を未受診の市民	栄養・食生活
	身体運動・活動
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康
②少年期（6～15歳）	飲酒
③青年期（16～29歳）	喫煙
④壮年期（30～44歳）	○ 歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）	○ 健診・がん検診 ○
⑥高齢期（65歳以上）	○ 感染症対策

**課題**  
対象者全層で関心が薄い

**課題における視点「健康無関心層」**  
対象者全層

**事業の実施方法**  
受診券による受診勧奨

# 疾病予防課

## 個別予防接種事業

事業目的	目標
目的：感染症から市民を守るため予防接種を行い、感染症の発生及びまん延を防止し、公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。	予防接種制度の周知内容について充実を図る。

## 事業概要

定期予防接種（ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、4種混合、ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、水痘、日本脳炎、二種混合、子宮頸がん、高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌）、任意予防接種（おたふくかぜ、高齢者肺炎球菌（65歳以上の定期接種対象外で未接種の方））の実施

対象	分野
0～20歳未満	栄養・食生活
60～64歳以上の一部及び65歳以上	身体運動・活動
①乳幼児期（0～5歳）	○ 心の健康
②少年期（6～15歳）	○ 飲酒
③青年期（16～29歳）	○ 喫煙
④壮年期（30～44歳）	歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）	○ 健診・がん検診
⑥高齢期（65歳以上）	○ 感染症対策

## 課題

感染症予防、予防接種の意味を知り、正しく予防接種を受けるための知識の普及が必要である。

乳幼児の予防接種の種類が増えたため、全体を把握するのが困難な状況である。

## 課題における視点「健康無関心層」

予防接種に関心のない保護者、高齢者

## 事業の実施方法

予防接種手帳の配付、予防接種ナビの紹介

各予防接種の対象年齢で個別通知を発送する。

実施医療機関への予防接種の実施、制度についての周知をする。

# 疾病予防課

## 結核予防事業

### 事業目的

結核のまん延を予防するための結核検診を行い、住民の健康の維持増進及び公衆衛生の保持への寄与を目的とする。

### 目標

胸部X線検査の機会の確保

### 事業概要

一般住民の胸部X線検査を実施

### 対象

16歳以上40歳未満の人  
65歳以上の人

### 分野

栄養・食生活

身体運動・活動

①乳幼児期（0～5歳）

心の健康

②少年期（6～15歳）

飲酒

③青年期（16～29歳）

○

喫煙

④壮年期（30～44歳）

○

歯・口腔の健康

⑤中年期（45～64歳）

健診・がん検診

⑥高齢期（65歳以上）

○

感染症対策

○

### 課題

高齢者の占める割合は、50%程度で推移すると予想される。

### 課題における視点「健康無関心層」

健康に関心のない高齢者

### 事業の実施方法

広報、ホームページで日程を周知し、胸部X線検査を実施する。

# 疾病予防課

## 急病診療所等運営事業

事業目的	目標
急病患者の応急処置を行うことにより、地域住民の生命および健康の保持に努めることを目的とする。	急病診療所の適正利用について周知を行う。

**事業概要**  
休日や夜間の急な病気の応急処置を行うために、内科・小児科・外科(外科は土日・祝日および年末年始のみ)の診療を行う急病診療所と、休日等の急な歯の痛み等の応急処置を行うために、日・祝日・盆期および年末年始に診療を行う休日急病等歯科診療所の運営を行う。

対象	分野		
全市民	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期(0～5歳)	○	心の健康	
②少年期(6～15歳)	○	飲酒	
③青年期(16～29歳)	○	喫煙	
④壮年期(30～44歳)	○	歯・口腔の健康	○
⑤中年期(45～64歳)	○	健診・がん検診	
⑥高齢期(65歳以上)	○	感染症対策	

**課題**  
該当項目なしだが、急病診療所の適正利用について、周知していく必要がある。

**課題における視点「健康無関心層」**  
急病診療所の開設時間や診療科目、開設目的について知らない市民

**事業の実施方法**  
急病診療所の運営形態について周知することで、開設時間外や診療していない科目での来訪を防ぎ、適正な利用を促す。

## 疾病予防課

### 急病医療情報案内(あんしんホットダイヤル)事業

事業目的	目標
市民に対する医療相談等の充実を図ることを目的とする。	「あんしんホットダイヤル」の取り組みについて、市民への更なる周知を実施する。

### 事業概要

夜間や休日に診療している病院・診療所等の案内、急な病気・けが等の健康状態についての相談やメンタルヘルス、介護、子育て等に関する相談がしたいときに問い合わせができ、医師・保健師・看護師等から適切なアドバイスを受けられるフリーダイヤルのテレフォンサービスを24時間年中無休で実施する。

対象	分野		
全市民	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	○	心の健康	○
②少年期（6～15歳）	○	飲酒	○
③青年期（16～29歳）	○	喫煙	○
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康	○
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診	○
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策	○

### 課題

各分野全ての課題に該当

### 課題における視点「健康無関心層」

「あんしんホットダイヤル」について知らない市民

### 事業の実施方法

広報・ホームページ・案内カードの配布を通じて、「あんしんホットダイヤル」について周知を図る。



# 国民健康保険課

## エイズ予防の啓発

事業目的	目標
エイズ予防に関する知識の普及、啓発	エイズ予防について、市民への更なる周知を実施する。

## 事業概要

エイズ予防パンフレットの購入、配布

対象	分野
全市民	栄養・食生活
	身体運動・活動
①乳幼児期（0～5歳）	○ 心の健康
②少年期（6～15歳）	○ 飲酒
③青年期（16～29歳）	○ 喫煙
④壮年期（30～44歳）	○ 歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）	○ 健診・がん検診
⑥高齢期（65歳以上）	○ 感染症対策

## 課題

性感染症の原因と予防について正しい知識を普及する必要がある。

## 課題における視点「健康無関心層」

性感染症に対する知識や関心のない若年層

## 事業の実施方法

国民健康保険被保険者をターゲットとして予防啓発を行う。

# 国民健康保険課

## データヘルス計画

### 事業目的

健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図る。

### 目標

- ①40歳代の受診率の1%増加
- ②受診勧奨対象者への受診勧奨100%など。

### 事業概要

- ①特定健診受診率向上のための取り組み
- ②糖尿病性腎症重症化予防のための取り組みを実施する。

### 対象

40歳以上の国民健康保険被保険者

### 分野

栄養・食生活

○

身体運動・活動

①乳幼児期（0～5歳）

心の健康

②少年期（6～15歳）

飲酒

○

③青年期（16～29歳）

喫煙

○

④壮年期（30～44歳）

○

歯・口腔の健康

⑤中年期（45～64歳）

○

健診・がん検診

○

⑥高齢期（65歳以上）

○

感染症対策

### 課題

生活習慣病と呼ばれる、糖尿病などの疾病が、国、県よりいずれも高い傾向にある。

### 課題における視点「健康無関心層」

受診率の割合が低い40歳～50歳代

### 事業の実施方法

- ①受診率の低い若年層を中心に受診勧奨等を行う。
- ②検査結果に異常が認められ、医療機関受診が確認できない者に対し、受診勧奨を行う。

# スポーツ課

## 健康スポーツ教室事業（屋内教室）

事業目的	目標
市民の健康づくりやスポーツに親しむ機会を提供するため、市民プールにおいて利用者のニーズを取り入れながら各種健康スポーツ教室を実施すること。	参加者の増

事業概要
市民の健康づくりやスポーツに積極的に参加できるよう生涯スポーツを開設し、健康維持の促進を図る。エアロビクスダンス、ヨガ、ストレッチ等の10教室を開催している。

対象	分野	
成人	栄養・食生活	
	身体運動・活動	○
①乳幼児期（0～5歳）		心の健康
②少年期（6～15歳）		飲酒
③青年期（16～29歳）	○	喫煙
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策

課題
運動をする習慣や、機会がない

課題における視点「健康無関心層」
健康づくりに関心がない市民 健康づくりに取り組む機会や環境がない市民

事業の実施方法
市ホームページ、広報いちかわ掲載等により周知を図る。

# スポーツ課

## 健康スポーツ教室事業（市民プール教室）

### 事業目的

市民の健康づくりやスポーツに親しむ機会を提供するため、市民プールにおいて利用者のニーズを取り入れながら各種健康スポーツ教室を実施する。

### 目標

参加者の増

### 事業概要

市民の健康づくりやスポーツに積極的に参加できるよう生涯スポーツを開設し、健康維持の促進を図る。

市民プール開場期間中、アクアビクス教室を開催している。

### 対象

身長120cm以上の方

### 分野

栄養・食生活

身体運動・活動

○

①乳幼児期（0～5歳）

心の健康

②少年期（6～15歳）

○

飲酒

③青年期（16～29歳）

○

喫煙

④壮年期（30～44歳）

○

歯・口腔の健康

⑤中年期（45～64歳）

○

健診・がん検診

⑥高齢期（65歳以上）

○

感染症対策

### 課題

運動をする習慣や、機会がない

### 課題における視点「健康無関心層」

健康づくりに関心がない市民

健康づくりに取り組む機会や環境がない市民

### 事業の実施方法

市ホームページ、広報いちかわ掲載等により周知を図る。

# スポーツ課

## スポーツ推進事業（総合型地域スポーツクラブ）

事業目的	目標
市民が各種スポーツやレクリエーションを通じ、健康の保持・増進意欲の向上を図り、スポーツ実施率の向上や、地域の活性化を図ること。	平成28年度に設立した、市内3番目のクラブ「北市川スポーツクラブ」が自立し、自主運営できる様に多方面から支援を行うもの。

**事業概要**  
日本における生涯スポーツ社会の実現に向け、1995年に文部科学省が実施するスポーツ振興施策の1つで、一般的に地域の幅広い世代の人々が、年齢・興味関心・技術レベルなどに応じた様々なスポーツに触れる機会を提供する「多目的」「多世代」「多志向」の地域密着型のスポーツクラブである。

対象	分野		
全市民	栄養・食生活		
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	○	心の健康	
②少年期（6～15歳）	○	飲酒	
③青年期（16～29歳）	○	喫煙	
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康	
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診	
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策	

**課題**  
運動をする習慣や、機会がない

**課題における視点「健康無関心層」**  
健康づくりに関心がない市民  
健康づくりに取り組む機会や環境がない市民

**事業の実施方法**  
「北市川スポーツクラブ」の認知度をあげるため、当該地区の児童や生徒、自治会などに興味をもってもらうため、チラシ等を配布し周知を図る。

# スポーツ課

## スポーツ推進事業（下総・江戸川ツデーマーチ）

事業目的	目標
スポーツをする機会の創出を行うため、千葉県ウォーキング協会などと協力し、大会を開催するもの。	参加者数の増

**事業概要**

「健康都市いちかわ」の取り組みとして、ウォーキングは市民ニーズの高いスポーツである。大会は、2日間とも4種類のコースがあり自然や名所・旧跡にふれながら体力に合わせて歩く。体に負担が少なく安全かつ効果的に有酸素運動が出来るウォーキングは老若男女を問わず気軽に楽しめるスポーツである。

対象	分野		
対象規定なし	栄養・食生活		
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	○	心の健康	
②少年期（6～15歳）	○	飲酒	
③青年期（16～29歳）	○	喫煙	
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康	
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診	
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策	

**課題**

運動をする習慣や、機会がない

**課題における視点「健康無関心層」**

健康づくりに関心がない市民  
健康づくりに取り組む機会や環境がない市民

**事業の実施方法**

広く市民へ関心をもってもらうよう周知（各公民館、駅、公共施設、広報いちかわ、地元新聞など）を図る。

# スポーツ課

親子プレスクール（市川スポーツガーデン〈I S G〉市川市共催健康教室）

事業目的	目標
親子のスキンシップ遊びや体づくりを楽しみながら行うことで、子育て世代の健康スポーツ意識を高め、生涯スポーツにつなげることに。	参加者数の増

事業概要
<p>毎回カリキュラムのもと、プロの保育士が、お子様の成長を応援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム</li> <li>・手遊び</li> <li>・知能トレーニング（色分け/指示行動/脳トレ）</li> <li>・器具遊び・運動</li> </ul>

対象	分野	
「よちよち」1歳児クラス	栄養・食生活	
「にこにこ」2歳児クラス	身体運動・活動	○
①乳幼児期（0～5歳）	○	心の健康
②少年期（6～15歳）		飲酒
③青年期（16～29歳）		喫煙
④壮年期（30～44歳）		歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）		健診・がん検診
⑥高齢期（65歳以上）		感染症対策

課題
運動をする習慣や、機会がない

課題における視点「健康無関心層」
健康づくりに関心がない市民健康づくりに取り組む機会や環境がない市民

事業の実施方法
市ホームページ、I S GのHP、広報いちかわ掲載等により周知を図る。

# 介護福祉課

## 地域包括支援センター事業

### 事業目的

目的：高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、相談等の支援を行う。

### 目標

支援者の研修等を行い、支援技術の向上を図る。

### 事業概要

高齢者の心身の健康維持、安心した暮らしを地域ぐるみで支えていくための拠点として、総合相談事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援等を実施。

### 対象

65歳以上の高齢者

### 分野

栄養・食生活

○

身体運動・活動

○

①乳幼児期（0～5歳）

心の健康

○

②少年期（6～15歳）

飲酒

○

③青年期（16～29歳）

喫煙

○

④壮年期（30～44歳）

歯・口腔の健康

○

⑤中年期（45～64歳）

健診・がん検診

⑥高齢期（65歳以上）

○

感染症対策

### 課題

各分野の課題に該当（健診・感染症対策以外）

### 課題における視点「健康無関心層」

健康づくりに関心がない、経済的に余裕がない、介護等で時間がない高齢者

### 事業の実施方法

高齢者サポートセンター・ケアマネージャーとの会議や研修を通じて関心が高まるよう働きかける。窓口業務等では家族や本人に意識を持ってもらうようにする。各家庭の問題へ支援する。



# 介護福祉課

## 食の自立支援（配食サービス）事業

事業目的	目標
在宅のひとり暮らし高齢者等が配食サービスの提供を通して健康な日常生活を営むことができるようにする。	事業周知として広報掲載を行う。

**事業概要**  
ひとり暮らしの方または高齢者世帯等の方で、栄養改善が必要な方及び食事の支度が困難な方に対して、配食サービスの提供を通して、利用者の安否を確認し、見守りを行う。

対象	分野	
65歳以上の高齢者のひとり暮らし又は高齢者世帯の人	栄養・食生活	○
	身体運動・活動	
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康	
②少年期（6～15歳）	飲酒	
③青年期（16～29歳）	喫煙	
④壮年期（30～44歳）	歯・口腔の健康	
⑤中年期（45～64歳）	健診・がん検診	
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策

**課題**  
ひとり暮らし高齢者等の栄養不足等への対応

**課題における視点「健康無関心層」**  
食生活に関して無関心な高齢者

**事業の実施方法**  
週1回から3回の配食を通じた見守り

# 地域支え合い課

## 認知症総合支援事業

事業目的	目標
認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会を実現する。	認知症の早期診断、早期対応に向けた支援を行うとともに、地域住民の認知症に対する理解促進を図ることにより、認知症になっても地域で質の高い生活を送れる地域づくりを推進する。

## 事業概要

認知症の方の早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築する。  
「認知症初期集中支援チーム」のチーム員が、認知症が疑われる人、認知症の人とその家族を訪問し、認知症の専門医による鑑別診断等をふまえて、観察・評価を行い、本人や家族支援などの初期の支援を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行う。

対象	分野		
40歳以上で、在宅で生活、認知症が疑われるまたは認知症があり、基準のいずれかに該当する人	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康	○	
②少年期（6～15歳）	飲酒	○	
③青年期（16～29歳）	喫煙	○	
④壮年期（30～44歳）	歯・口腔の健康	○	
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診	○
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策	

## 課題

各分野全ての課題に該当

## 課題における視点「健康無関心層」

認知症に対する知識や関心のない市民

## 事業の実施方法

認知症に関心のない市民にも興味・関心を持ってもらえるよう、認知症に関する普及啓発を進めていく。

## 地域支えあい課

### 在宅医療・介護連携推進事業

事業目的	目標
医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることを実現する。	在宅医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者に対し、両者を一体的に提供するために必要な支援を行う。

### 事業概要

医療と介護の両方を必要とする状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、地域の医師会等と連携しつつ在宅医療・介護連携の推進に取り組む。

対象	分野		
全市民	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康	○	
②少年期（6～15歳）	飲酒	○	
③青年期（16～29歳）	喫煙	○	
④壮年期（30～44歳）	歯・口腔の健康	○	
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診	○
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策	○

### 課題

各分野全ての課題に該当

### 課題における視点「健康無関心層」

在宅療養に関心のない市民

### 事業の実施方法

講演会等を開催する際、在宅療養に関心の無い市民にも興味を持ってもらえるよう周知する。

# 子育て支援課

## 子ども家庭総合支援センター

### 事業目的

子どもと子育て中の家庭の保健・福祉・教育等に関する悩みなど、子どもに関わるさまざまな問い合わせや悩みの相談に応じるとともに、市が提供するサービスを適切に受けられるように総合的にアドバイスし、必要に応じて関係機関と連携して適切な支援を実施する。

### 目標

適切な支援の継続。

### 事業概要

子どもの生活習慣や養育に関する心配ごとなど子どものことであればなんでも相談を受け、子どもと子育て家庭を総合的に支援していく。

### 対象

妊娠期～18歳までの子ども・保護者など

### 分野

栄養・食生活

身体運動・活動

①乳幼児期（0～5歳）

○

心の健康

○

②少年期（6～15歳）

○

飲酒

③青年期（16～29歳）

○

喫煙

④壮年期（30～44歳）

○

歯・口腔の健康

⑤中年期（45～64歳）

○

健診・がん検診

⑥高齢期（65歳以上）

感染症対策

### 課題

相談場所を周知していく必要がある。

### 課題における視点「健康無関心層」

一人で悩みをかかえる市民

### 事業の実施方法

子どもや子育てに関する講座の開催や、啓発イベントの開催により相談場所の周知

# 保健体育課

## ヘルシースクール推進事業

事業目的	目標
健康について自ら考え、行動し、改善できる子どもの育成。	ヘルシースクールプランが有効活用できるよう、各学校に啓発を行っていく。

## 事業概要

「食生活の乱れ」「体力・運動能力の低下」「生活習慣病の低年齢化」等、現代の子どもたちが抱える多くの健康課題の改善を図るため取り組みを行う。

対象	分野		
小学生、中学生	栄養・食生活	○	
	身体運動・活動	○	
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康		
②少年期（6～15歳）	○	飲酒	
③青年期（16～29歳）		喫煙	
④壮年期（30～44歳）		歯・口腔の健康	○
⑤中年期（45～64歳）		健診・がん検診	
⑥高齢期（65歳以上）		感染症対策	

## 課題

開始して11年が過ぎ、形骸化してきている状況がある。

## 課題における視点「健康無関心層」

健康づくりに関心がない家庭。

## 事業の実施方法

新たな視点を取り入れられないか模索していく。

# 保健体育課

## 食育推進事業

事業目的	目標
学校における「食育」の取り組みを周知し、食への関心を高める。	学校給食会と連携し、「市民まつり」において、啓発活動を行う。

## 事業概要

学校における「食育」の取り組みについて家庭や地域に情報を発信し、家庭・学校・地域の連携による食育の推進・充実を図る。

対象	分野	
全市民	栄養・食生活	○
	身体運動・活動	
①乳幼児期（0～5歳）	○	心の健康
②少年期（6～15歳）	○	飲酒
③青年期（16～29歳）	○	喫煙
④壮年期（30～44歳）	○	歯・口腔の健康
⑤中年期（45～64歳）	○	健診・がん検診
⑥高齢期（65歳以上）	○	感染症対策

## 課題

「市民まつり」でコーナーを運営しているが、日々の食生活に結び付けることが難しい。

## 課題における視点「健康無関心層」

健康づくりに関心がない家庭。

## 事業の実施方法

学校給食会と連携し、展示内容等の見直しを行う。

# 保健体育課

## 歯と口腔の健康づくり

### 事業目的

歯の大切さの認識を高め、身体健康保持、増進に寄与する。

### 目標

市の歯みがき指導事業と提携し、小5で実施する指導の充実を図る。

### 事業概要

日常の正しい歯みがきのための歯みがき指導や各自の口腔機能を確認するすこやか口腔検査、健歯児童生徒の表彰など、生涯にわたって健康であるための基礎づくりを図る。

### 対象

小学生、中学生

### 分野

栄養・食生活

身体運動・活動

①乳幼児期（0～5歳）

心の健康

②少年期（6～15歳）

○

飲酒

③青年期（16～29歳）

喫煙

④壮年期（30～44歳）

歯・口腔の健康

○

⑤中年期（45～64歳）

健診・がん検診

⑥高齢期（65歳以上）

感染症対策

### 課題

家庭との連携が難しい。

### 課題における視点「健康無関心層」

健康づくりに関心がない家庭。

### 事業の実施方法

子どもたちに意識付けしていくことで、家庭への啓発も行っていく。

# 保健体育課

## むし歯予防大会

事業目的	目標
歯の大切さの認識を高め、身体健康保持、増進に寄与する。	歯科衛生作品の作成を呼びかけ、優秀作品は県にも出品する。

**事業概要**  
歯科衛生作品（図画・ポスター・作文）の作成を呼びかけ、作品の掲示・表彰と、健歯児童・生徒を表彰することを通して、口腔衛生に関する正しい知識の普及啓発をするとともに歯科疾患の早期治療を励行する。

対象	分野	
小学生、中学生	栄養・食生活	
	身体運動・活動	
①乳幼児期（0～5歳）	心の健康	
②少年期（6～15歳）	○ 飲酒	
③青年期（16～29歳）	喫煙	
④壮年期（30～44歳）	歯・口腔の健康	○
⑤中年期（45～64歳）	健診・がん検診	
⑥高齢期（65歳以上）	感染症対策	

**課題**  
家庭との連携が難しい。

**課題における視点「健康無関心層」**  
健康づくりに関心がない家庭。

**事業の実施方法**  
各校で歯科衛生作品作りに取り組むよう呼びかけを行い、6月7日（水）にむし歯予防大会を実施する。



市民の健康状態と生活習慣の改善にむけた各分野の課題（アンケート調査、各種統計、事業実績等の資料より）

※各課事業シート内の課題は以下より選択しました。（ただし、課題が項目に該当しない場合は、各課で課題をあげています。）

【市民の健康状態】

項目	課題
死因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悪性新生物（がん）が第1位、次いで心疾患、脳血管疾患の順に多い。</li> <li>・ 男女とも、悪性新生物と心疾患による死亡者が増加している。</li> <li>・ 男性は女性よりも若い年齢から死亡者が増加し、特に悪性新生物による死亡が女性の約2倍である。</li> <li>・ 自殺者は男性のほうが女性より多い。</li> </ul>
医療費	<p>【生活習慣病患者数の多い疾患】</p> <p>男性：①高血圧症 ②糖尿病 ③筋・骨格 ④脂質異常症 ⑤がん 女性：①筋・骨格 ②高血圧症 ③脂質異常症 ④糖尿病 ⑤がん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性は高血圧症患者の割合が最も多く、女性の約1.4倍、糖尿病患者の割合は女性の約2.1倍である。</li> <li>・ 男性は40歳代半ばから、高血圧症患者数が最も多くなる。</li> <li>・ 女性は筋・骨格患者の割合が最も多く、男性の約1.6倍、脂質異常症患者の割合は男性の約1.7倍である。</li> <li>・ 女性は10歳代からがん患者数が増加し、70歳代から筋・骨格の患者が最も多くなる。</li> </ul>
高齢化	<p>【介護が必要になった要因】</p> <p>男性：①脳血管疾患 ②認知症 ③糖尿病 女性：①骨折・転倒 ②認知症 ③脳血管疾患</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ H37年の推計要介護認定率は23.0%（65歳以上の高齢者4.4人に一人が要支援・要介護者となる見込み）</li> <li>・ 認知症高齢者はH37年には1万3千人を超える見込みであり、要介護者のうち認知症高齢者の占める割合は、50%程度で推移すると予想される。</li> </ul>
感染症	<p>感染症予防、予防接種の意味を知り、正しく予防接種をうけるための知識の普及が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児の予防接種の種類が増えたため、全体を把握するのが困難な状況である。</li> <li>・ 性感染症の原因と予防について正しい知識を普及する必要がある。</li> </ul>
健診・検診 特定保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若年層の特定健診受診率が低い。</li> <li>・ 特定保健指導の実施率が目標値に到達していない。</li> </ul>

【各分野の課題】

項目	課題
栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性は30代から、女性は40代から肥満の割合が増加する。</li> <li>・ 20代～30代女性、90代女性にやせの傾向がある。</li> <li>・ 男性20～40代、女性20代の2～3割が朝食を欠食している。</li> <li>・ 主食・主菜・副菜をそろえたバランスのよい食事を取る人の割合が低下している。</li> <li>・ 意識して野菜をとる人の割合が低い。</li> </ul>
運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約半数に運動習慣がなく、特に20～40代では運動習慣のない人がほとんどである。</li> <li>・ 普段の生活の中で具体的に取り込める運動の提示や取り組みやすい環境づくりが必要である。</li> <li>・ 中高生で運動を習慣的にしている人は半数以下である。</li> </ul>
心の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4人に1人は、睡眠による休養をとれていないため、睡眠や心の健康に関する知識についての周知が必要である。</li> <li>・ ストレスを感じている人のうち、解消できている人は3割である。</li> <li>・ 相談場所を周知していく必要がある。</li> </ul>
飲酒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一日の適量を超えて飲酒する女性の割合が増加している。</li> <li>・ 一日の適量を認識していない人が多い。</li> <li>・ 多量飲酒者が増加しており、生活習慣病を発症する割合が高い。</li> </ul>
喫煙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性の喫煙率が県と比較し高い。</li> <li>・ 健康への影響についての認知率が低い。</li> <li>・ 禁煙を希望しているものの実行できない人が多い。</li> </ul>
歯・口腔の健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年に1回歯科健康診査を受診する人が少ない。</li> <li>・ かかりつけ歯科医を持つ人が少ない。</li> <li>・ 1日1回ていねいに歯を磨いている人の割合は、増えているものの歯周病の増加から、正しく歯をみがけていない人が多い。</li> </ul>